

「大阪市空家等対策計画」に基づき、区役所を拠点として、
地域や専門家団体等と多様な連携を図り、空家等対策を総合的に推進

空家の適正管理・利活用の促進 (800万円)

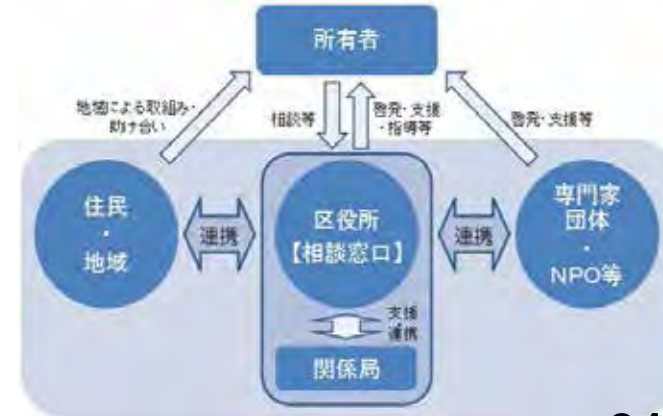
- ① 複数の区(住吉区、東住吉区)において、有効な取組手法の構築に向けた調査を実施
平成30年度からの各区行動計画等に反映
- ② セミナーの開催や専門家団体と連携した相談会などの実施



空家の管理・活用に関するセミナー

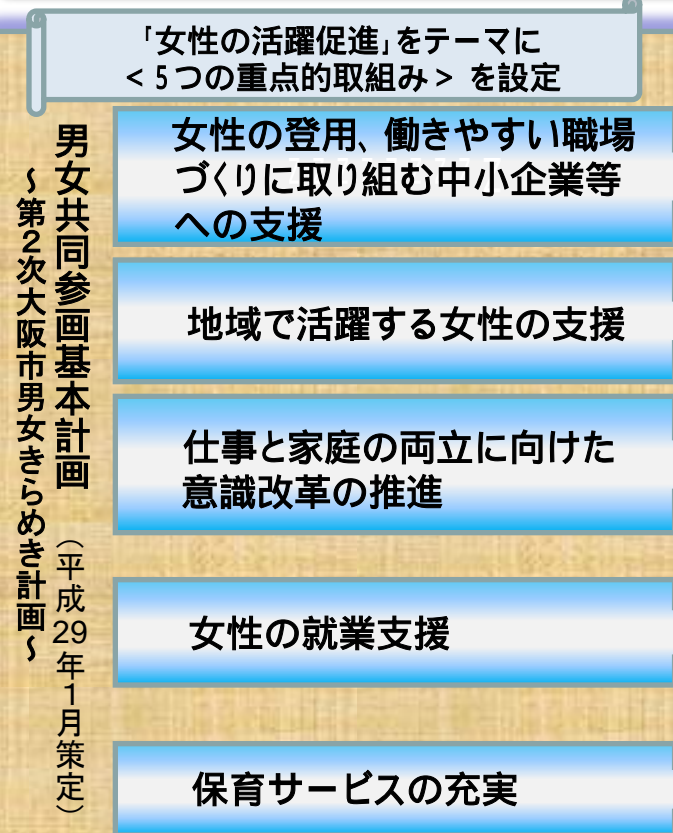
特定空家等の是正 (1,300万円)

- ① 特定空家等の所有者等に対して、段階的に指導を強化することで、自主的な改善を促進
- ② 改善がみられず、特に必要と認められる場合には、行政処分による是正措置を実施





空家等対策の取組体制

新たな「男女共同参画基本計画」に基づき、若者・女性が多様な生き方・働き方を選択できる環境を整備



女性の活躍促進事業 (2,700万円)

- 拡** ○ チャレンジ企業の認証・取組みの支援
・女性活躍促進の職場環境づくりを進めようとする意欲的な中小企業を「チャレンジ企業」として認証・PRし、取組推進に向けコンサルティングを実施 
- 女性チャレンジ応援拠点における事業展開
・地域で活躍する女性の情報発信 ・地域活動への参画をサポート
・地域で活躍中の女性の活動を支援
- ワーク・ライフ・バランスの推進
○ 次代を担う若者のライフデザイン支援
○ 男性の家事・育児等への参画促進に向けた啓発 

拠点：オープニングイベント風景



若者・女性の就労等トータルサポート事業(1億3,600万円)

- ワンストップの総合相談事業の実施 ・自分にあった仕事探しのきめ細かな相談
- 若者・女性への就労支援事業の実施 ・若者・女性を応援する企業とのマッチング

その他主な取組み

- 多様な保育ニーズへの対応
・民間保育所等整備事業 など (123億3,700万円)【再掲】

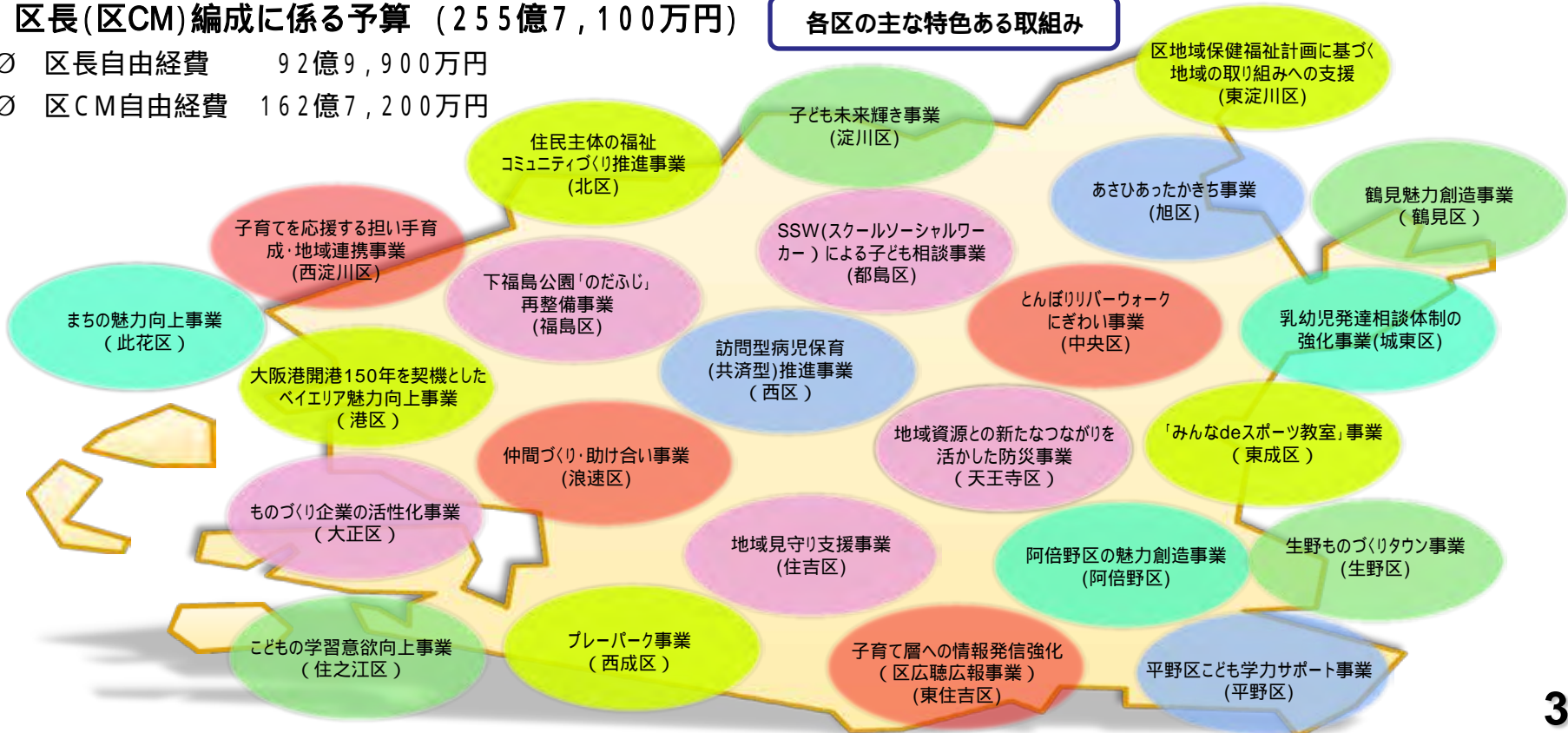
区の特性や地域の実情に即した施策の展開

引き続き区長の権限と責任による区の特性や地域の実情に即した総合的な施策を展開

区長(区CM)編成に係る予算 (255億7,100万円)

- 区長自由経費 92億9,900万円
- 区CM自由経費 162億7,200万円

各区の主な特色ある取組み



西成特区構想 ①

あいりん地域の諸課題に対応するとともに、区全体の将来の活性化に向け、子育て・教育・集客などの施策を着実に進め、官民協働で西成特区構想の更なる推進を図る

「有識者座談会報告書(平成24年10月)」8分野56項目の提言に基づき、関係各局が施策・事業の具体化を実施

今後も継続して施策・事業を実施

あいりん総合センターをはじめとするまちづくりについては、地域の意見を最大限尊重し具体的な方針・計画を決定

短期集中的な対策 - 福祉・環境・治安・安全・医療などあいりん地域を中心とした諸課題への対応 -

あいりん地域環境整備事業(巡回・啓発等、防犯カメラ・安全対策拠点運用、駐輪対策) (1億9,800万円)

- 巡回・啓発等 (地域住民等と行政が協働して環境整備を行う)
 - ・ ごみの不法投棄防止を目的とした巡回、排出ルールの啓発活動など
- 防犯カメラ・安全対策拠点運用 (通学路のさらなる安全性の向上)
- 駐輪対策 (道路通行機能の改善)
 - ・ 自転車置場の確保及び整備により迷惑駐輪を削減
 - ・ 駐輪マナー啓発活動と長期放置自転車対策の強化など



対策前



対策後

(1億2,900万円)

大阪社会医療センターの整備

- 病院の建設に向けた用地整備、基本設計業務

いまみや小中一貫校の開校にかかるスクールバス運行事業

(1,800万円) など

計 9億7,800万円 34



西成特区構想②

将来に向けた中長期的な対策 - 子育て・教育・イメージアップなど西成区全体の活性化に向けての対策 -
プレーパーク事業 (1,300万円)

○ 「生きる力」を育むこどもの居場所づくり

- ・ 西成区版「プレーパーク」の常設をめざした取組みを展開
 「遊び場」、「学び場」(学習支援機能)、「たまり場」(フリースペース)の機能を備えた
 2年目のトライアル実施(平成29年4月～平成30年3月)



平成28年度プレーパーク事業開催風景
 (平成28年5月～9月:もと津守小学校
 ・幼稚園で実施 延べ5,500人が利用)

西成区簡易宿所設備改善助成事業 (2,000万円)

基礎学力向上支援事業 (900万円) など

計 7,100万円

将来のための投資的プロジェクトや大規模事業

西成特区構想エリアマネジメント協議会運営事業 (600万円)

計 600万円

○ 新たに今後の方向性検討のための調査を実施

大阪府・大阪府警・大阪市 **あいりん地域を中心とする環境整備の取組み【5か年計画】事業**

薬物依存症者等ケア強化事業 (300万円)

薬物依存症者等サポート事業 (300万円)

計 600万円

平成29年度 西成特区構想関連事業 合計10億6,100万円

あいりん地域を中心とする環境
 整備の取組み【5か年計画】事業含む

【参考】あいりん地域を中心とする環境整備の取組み

各区の特色ある
施策の展開

西成特区構想の推進に呼応して、大阪府・大阪府警・大阪市が協力し、平成26年度から5か年の計画で、地域の環境整備を強力に推進

覚せい剤等薬物対策

取締活動

- 【大阪府警】 (2,500万円)
・薬物事犯取締体制の強化
・取締用機材・鑑定用機材の整備
・街頭防犯カメラの整備

地域における薬物対策

- 【大阪府】 (100万円)
・薬物乱用防止の啓発
【大阪市】 (300万円)
・薬物依存症者等サポート
【大阪府・大阪市】 (800万円)
・薬物依存症者等ケア強化

まちづくり、安全・安心の取組み

通学路を中心とした安全対策

- 【大阪府警】 (1,600万円) 【大阪市】 (200万円)
・子どもの安全見まもり活動の活性化 ・通学路安全対策防犯カメラ運用
 (西成子ども安全コーディネーター等配置) ・安全対策拠点運用
・違法DVD取締用機材の整備

不法投棄ごみ対策

- 【大阪府警】 (100万円)
・取締用機材の整備
【大阪市】 (9,100万円)
・不法投棄ごみの処理、防止に係る
 啓発・巡回等

その他の対策

- 【大阪市】 (1億500万円)
・駐輪対策
 (自転車置場整備、マナー啓発等)
・野宿生活者の自立支援

〈成長のための源泉〉

集客

人材

産業・技術

物流・人流
インフラ

都市再生

〈様々な主体が共有〉

住民

企業

NPO

自治体

国

〈めざすべき都市像〉

日本の成長をけん引する
東西二極の一極として
世界で存在感を発揮する都市

ハイエンド
都市

〔価値創造
都市〕

中継都市

〔アジアと
日本各地の
結節点〕

好循環
相乗効果

内外から信頼される
安心・安全の確保

〈大阪の成長目標〉

実質成長率

〔目標〕年平均2%以上

実績(2014) +0.5%

〔2020年までの10年間で
経済規模を2割拡大〕

雇用創出

〔目標〕年平均1万人以上

実績(2015) +0.7万人

〔2020年までの10年間で
10万人以上の雇用創出〕

来阪外国人

〔目標〕2020年に1,300万人が大阪に

実績(2016) 941万人

関空貨物取扱量

〔目標〕2020年に123万トンへ

実績(2015) 70万トン

阪神港貨物取扱量

〔目標〕2020年に590万TEUへ

実績(2015) 409万TEU

TEUとは、コンテナ船の積載の能力を示す単位

大きな経済波及効果が見込まれるIR(統合型リゾート)の
大阪への誘致の実現に向けて、府市が一体となって取組みを進める

府市が一体となった大阪へのIR誘致

「IR推進局」の府市共同設置 (平成29年4月)

大阪へのIR誘致 (2,500万円)

- 大阪IR構想(素案)の策定
- 大阪IRの実現に向けた取組み
課題の整理等
 - ・ギャンブル依存症対策
 - ・臨海部交通アクセス検討調査 など
- 今後の事業者募集等に向けた準備

夢洲まちづくり

夢洲まちづくり構想の推進 (500万円)



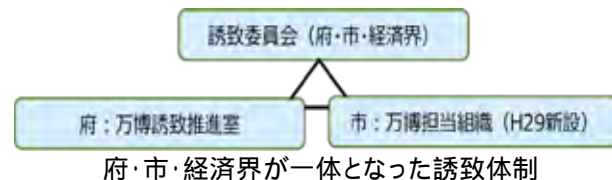
・建設投資による経済波及効果
7,600億円

・運営による経済波及効果
6,900億円/年



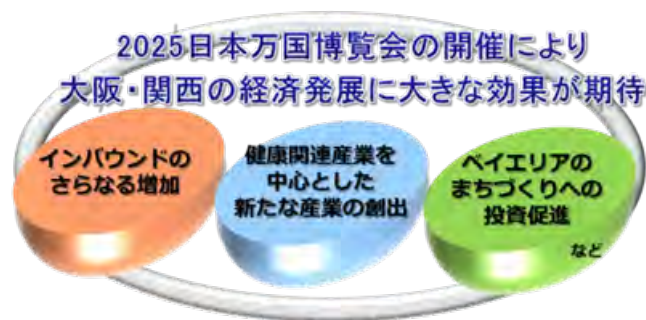
関西経済の活性化とともに、大阪の魅力を全世界に発信できる
絶好の機会となる2025日本万国博覧会の誘致を府や経済界と一体となって推進

2025日本万国博覧会誘致委員会(官民共同誘致組織)を設置
(平成29年3月)



2025日本万国博覧会大阪誘致推進事業

- 誘致委員会経費 (6,700万円)
 - ・誘致機運醸成、BIE加盟国への支持要請、誘致活動費、BIE加盟国による現地調査費 など
- 調査経費等 (4,300万円)
 - ・交通アクセス検討、会場整備検討 など



2016年度 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (平成31)	2020 (平成32)	2021 (平成33)	2022 (平成34)	2023 (平成35)	2024 (平成36)	2025 (平成37)
	基本構想策定(地元) 閣議了解(国) BIEへの立候補(国)	開催地決定予定!							
					計画策定(国)				
					交通インフラ整備 南エリア埋立追加工事				
							パビリオン建設		万博開催

都市魅力の向上①

世界が憧れる都市魅力を創造し、世界中から人、モノ、投資などを呼び込む「強い大阪」に向けた取組みを推進

水と光の魅力向上

「大阪・光の饗宴」の開催 (1億8,000万円)

- 御堂筋イルミネーション(阪神前～難波西口(約4km))・OSAKA光のルネサンスの開催
- 民間主催のエリアプログラムと一体的にプロモーションを展開

水と光のまちづくり推進事業 (3,600万円)

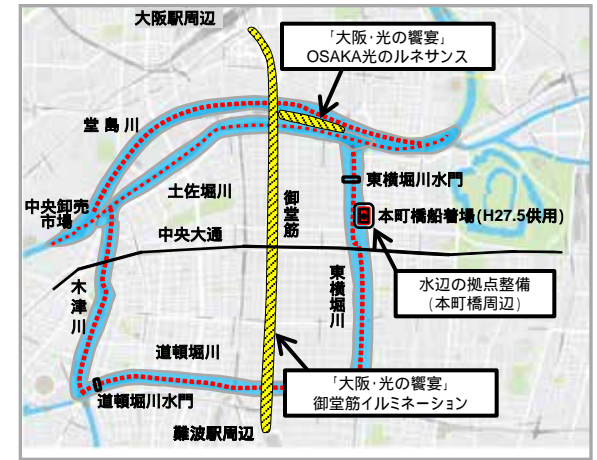
(新)

- 公民一体となった「水都大阪コンソーシアム」の設置
- 公民の力を結集し、水の回廊の各エリアでの賑わいをこれまで以上に創出
 - ・拠点をつなぐ舟運の活性化や船のある風景とにぎわいを創出など

(新)

水辺の魅力向上のためのインフラ整備 (1,000万円)

- 本町橋船着場を活用した新たな賑わい創出の拠点整備
 - ・平成29年度は、環境整備の詳細設計を実施



(将来イメージ) 参考事例:京橋川(広島市)



本町橋船着場
本町橋周辺の現況